

【参考】福祉施設における災害支援研修会 ふりかえりシート

BCP 策定において特に押さえておきたいポイントを以下のチェックシートにまとめました。研修のふりかえりとして活用してください。

【記号】 ○：できている △：おおむねできている ×：できていない ー：わからない

カテゴリー	項目	記号
① リスクの見極め	- 1.ハザードマップ等を活用し自組織における災害想定の見極め（地震災害、浸水災害、土砂災害 etc）を行った	
	- 2.過去の経験値（災害や災害につながる恐れのある事象）の把握と分析を行った	
	- 3.対象施設における安全ゾーンおよび危険ゾーンの設定を行った	
② 課題の設定	- 1.安全ゾーンへの避難誘導・退避方法について検討を行うことができた	
	- 2.発災時における利用者に対する緊急対応について検討を行うことができた	
	- 3.災害対策本部の設置・運営について検討を行うことができた	
	- 4.職員の参集基準・方法及び安否確認について検討を行うことができた	
	- 5.利用者の安否確認方法について検討を行うことができた	
	- 6.避難時の設備・環境の整備について検討を行うことができた	
	- 7.避難時の食料備蓄の整備について検討を行うことができた	
	- 8.災害時における情報の集約化、発信方法について検討を行うことができた	
	- 9.サービス提供の休止判断および方法について検討を行うことができた	
	- 10.サービス提供の継続判断および方法について検討を行うことができた	
	- 11.災害時における行政、関係機関との連絡調整、外部支援調整について検討を行うことができた	
	- 12.災害時における地域社会への貢献活動について検討を行うことができた（福祉避難所設置・運営含む）	
	- 13.災害時において地域住民が自施設へ避難してくることにについて検討を行うことができた	
	- 14.職員の労務管理について検討を行うことができた	
③ 行政・地域・関係機関との連携	- 1.行政への協力依頼を行った	
	- 2.地域関係団体（自治会、町内会、自主防災会等）への協力依頼を行った	
	- 3.その他関係機関への協力依頼を行った	
④ 内外の合意形成・協議	- 1.BCP 策定委員会もしくはそれに類する会議で協議を行った	
	- 2.BCP の内容について理事会、評議員会等を通じて組織的な合意を行った	
	- 3.BCP の策定において職員の参画が得られた	
	- 4.BCP の策定において利用者・家族の参画が得られた	
	- 5.BCP の策定において行政の参画が得られた	
	- 6.BCP の策定において地域関係団体、その他関係機関の参画が得られた	
⑤ シミュレーション	- 1.避難誘導にかかる所要時間の算出ができた（時間の見積もり）	
	- 2.避難誘導にかかる必要人員の算出ができた（人員の見積もり）	
	- 3.避難誘導にかかる避難経路の確認ができた（導線の見積もり）	
	- 4.避難先（安全ゾーン）における退避空間の確認ができた（空間の見積もり）	
	- 5.避難時に必要となる物品等の確認ができた（物品の見積もり）	
	- 6.避難時に必要となる動力（車両、電力など）の確認ができた（動力の見積もり）	
⑥ ICT 活用	- 1.被害状況の伝達手段・伝達先の構築が図られた	
	- 2.職員間の情報伝達手段の構築が図られた	
	- 3.その他外部との情報伝達手段の構築が図られた	
⑦ その他 BCP の内容	- 1.災害時における行動目標や理念・方針が明記されている（目標・方針設定）	
	- 2.表・図式化・イラスト・画像等によってわかりやすい、初任者でも理解しやすい内容となっている（可視化）	
	- 3.時系列で行動、対応がわかる内容となっている（フェーズ）	
	- 4.一つひとつの行動、対応が漏れないよう確認できるようになっている（チェックリスト）	
	- 5.必要に応じて更新作業をかけることができる設定になっている（メンテナンス）	
	- 6.これら一連の検討過程において記録が取れている（記録化）	